

再起動

“グレート・リセット”

幸福
多国籍主義

ステークホルダー責任主義

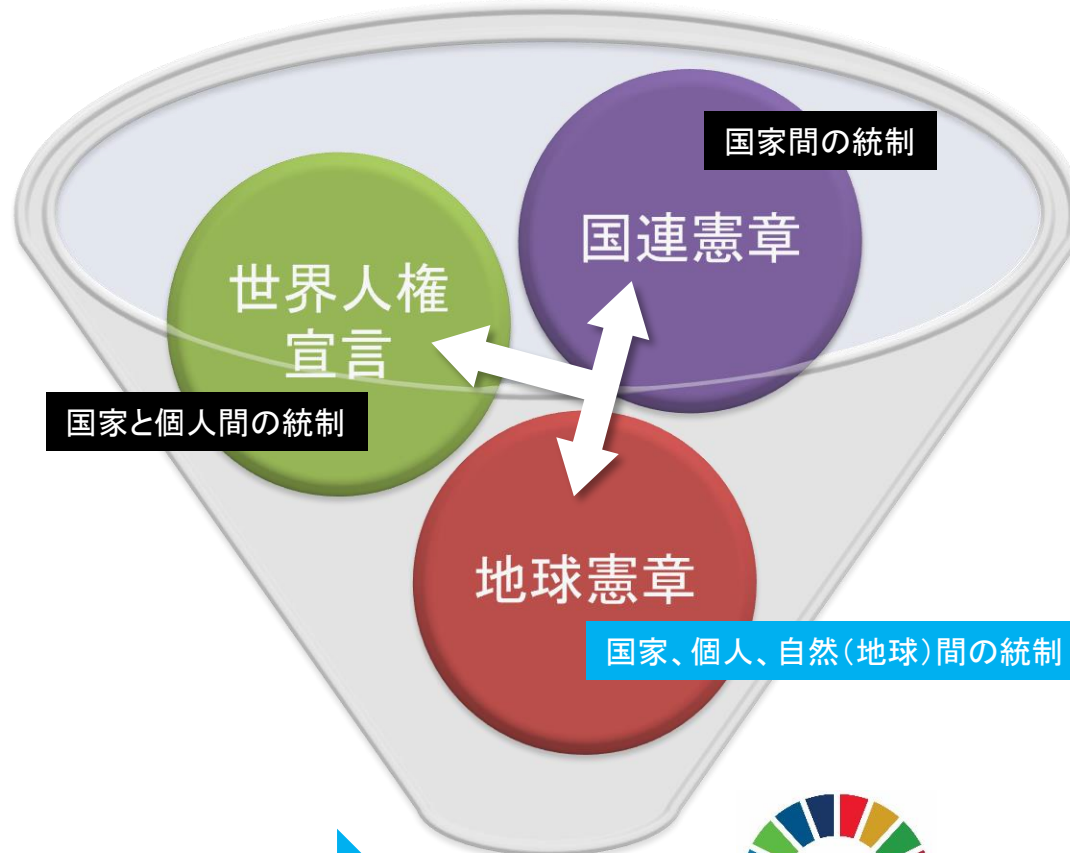
循環経済

Human & Planetary Health

人類と地球の健康



“Planetary” Ethics/Principles



STI, Education (ESD), DX

現地化
(ローカルSDGs)



Planetary Goals (SDGs)

“Planetary” Shared Value (地球レベルでの共有価値創造)

森

自然資源／生態系サービス

里

地域循環共生圏

農山漁村 (ローカルSDGs) 都市

自律分散型社会

地域資源【自然／物資／人材／資金】の循環

自律分散型社会

地域資源【自然／物資／人材／資金】の循環

各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら**自立・分散型の社会を形成しつつ、**
地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す

川

資金／人材などの提供

海

地域課題
ニーズ



地域資源
固有価値



相互連携
パートナーシップ



新たな価値創造



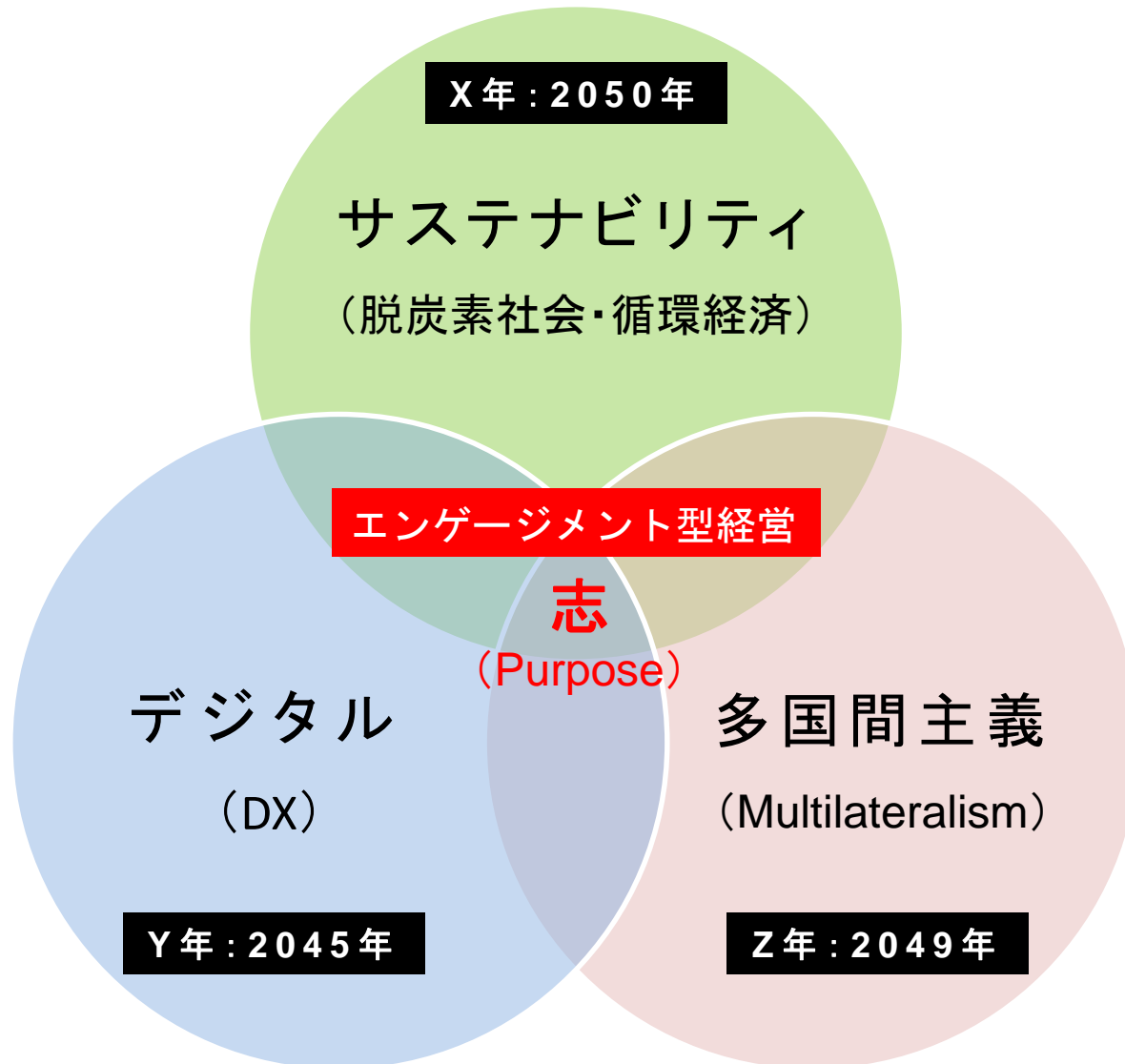
地域経済循環
地域ビジネス促進

エンゲージメント

「貢献しようとする志」

(個人 ⇄ 組織 ⇄ 社会 ⇄ 地球)

資本主義から「志」本主義へ



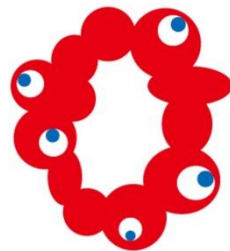
出典: 東洋経済オンライン、著者改編

名和 高司 (2020)「コロナ時代は「SDGsの落とし穴」に気をつけろ」, 東洋経済オンライン, 2020年8月21日: <https://toyokeizai.net/articles/-/368649>

2100

2050

2025



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

未来を共創する

SDGs 大学経営とグローバル・エンゲージメント戦略



「今あるもの」と「ありたい姿」をつなぐ

COVID-19
(グレート・リセット)
2020-2021

国連持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015-2030

2030-2045

2045

国連創設100周年

国連人間環境会議
(ストックホルム会議)
1972

2022 折り返し

国連人間環境会議50周年

SDGs中間地点 (2015-2030)

第3期中期目標

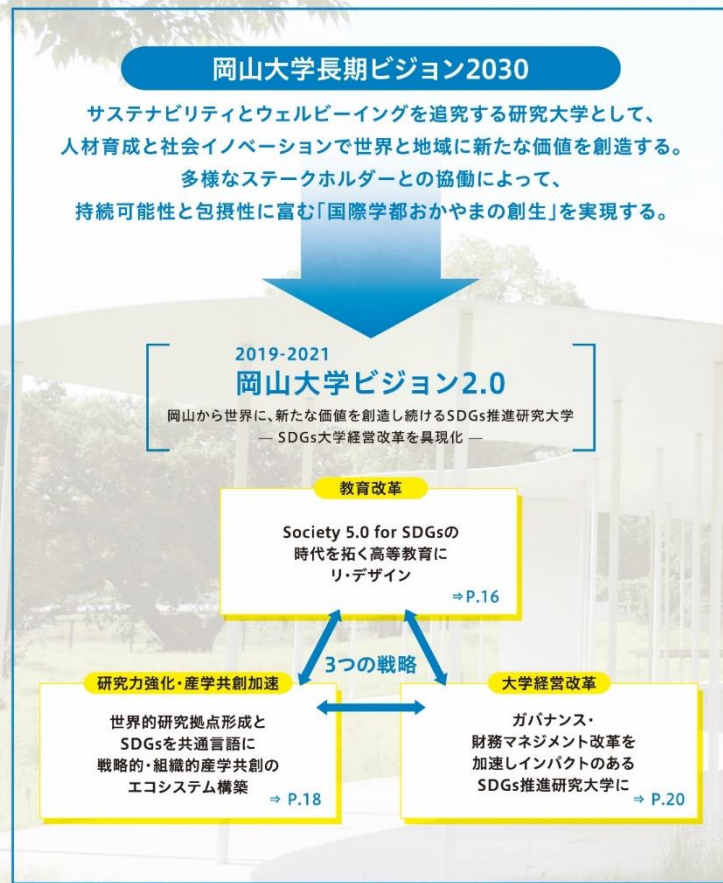
第4期中期目標

2016-2021

2022-2027

長期ビジョンの下、SDGs大学経営をスタート

(統合報告書 p.4-5)



あるべき姿を共有
BACKCASTING

社会課題を取り込む
OUTSIDE-IN



新たな価値を社会に提供
SOCIAL IMPLEMENTATION

課題解決のための多様なステークホルダーとの共創・参画
OPEN INNOVATION

SDGs大学経営の目指すところ

SDGsへの貢献を大学経営の中核に置いて、教育研究・産学共創を一体的に改革し、マルチステークホルダー・エンゲージメントを強化することで、**大学の特色と強みを際立たせた新たな事業モデル**を展開し、財源の多様化を図るとともに、**自律的な大学経営を実現**すること。

